ORA-エラー発生時に、トリガーを起動し独自処理を行う

エラーに対するトリガーを作成すれば、エラーが発生した時にトリガーが起動され、独自に記述した処理が実行できる。
ただし、ORA-00018、00020、01034、01403、01422、01423、04030 のエラーが発生した時には、このトリガーは起動されません

全エラーに対してのトリガー作成

```
create　or　replace　trigger　＜トリガー名＞
after　servererror　on　database
begin
    --　処理
end　;
```

特定のエラーに対してのトリガー作成

```
create or replace　trigger　＜トリガー名＞
before　servererror　on　database
begin
    if ( IS_SERVERERROR(＜エラー番号＞ ))　then
    --　処理
    end　if　;
end　;
```

特定の操作に対するエラー対応のためのトリガー作成

```
create or replace　trigger　＜トリガー名＞
before　＜操作名＞　on　database
begin
    if ( IS_SERVERERROR(＜エラー番号＞ ))　then
    --　処理
    end　if　;
end　;
```

操作名例）　shutdown